

日時 2010年7月29日(木)
9時00分～11時30分
科学教室(前半) 9時10分～10時10分
科学教室(後半) 10時15分～11時15分

場所 川西町立小松小学校
第1理科室、第2理科室

参加者 川西町内小学校(7校)
児童36名・教諭8名

テーマ
「-196℃の世界」
「噴水ペットボトルをつくろう」

実験指導

尾形 健明(教授 物質化学工学分野)
川井 貴裕(助教 物質化学工学分野)
田村 恒一(技術部 統括)
伊藤 淳(大学院前期課程1年)
大山 達也(大学院前期課程1年)

川西町理科教育センターの要請を受けて、参加児童のお父さんも小学生の頃に参加したことがあるという歴史ある児童科学教室での指導を行いました。参加児童は、5年生が12名、6年生が24名、引率の先生の班を加えて全部で8班を2教室に分けて実施しました。児童は高学年でしたので、実験は順調に進めることができました。



最後に実験で残った液体窒素を、渡り廊下の窓からまくと、迫力ある白雲に歓声が上がっていました。

